

# 三豊市立詫間小学校

本校は三豊市で一番大きな学校です。平成 22 年度は、自尊感情の育成と他者への思いやりの心を持った子どもたちを育成しようと、「心をみがく」活動に取り組んでいます。

実践事例（関連項目：教育活動プラン①-1）

## 責任を持った行動で自己肯定感を育む

目的

全校児童が共通の目的を持ち、その達成のために自分の果たす役割や責任を自覚し、協力しながらよりよい学校生活の充実を目指します。

内容

### ● 個人活動

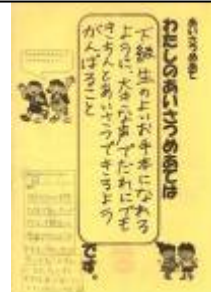
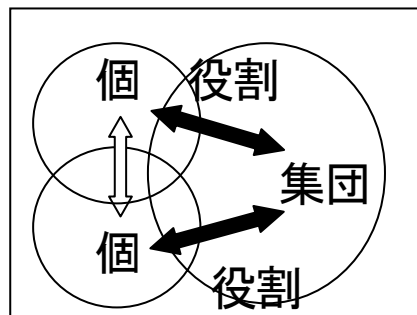
個人活動では、個々のめあてを持たせ実践を行います。自己評価だけでなく、教師も評価・指導を行い、責任を持って行動した児童に自信を持たせるようにします。

### ● 集団活動

委員会活動や縦割り活動で、児童が主体となって計画・立案して継続的に活動を行います。その活動の中で相互の交流を深めながら、集団としての連帯感や集団の一員としての自己を育成する態度を養います。

成果

児童を対象にしたアンケートで、成就感・達成感の伸びが見られました。今後は、この成就感や達成感を自己肯定感に繋げていきたいと思えます。



## PDCA の核となる生徒指導部会

目的

生徒指導部会が PDCA サイクルの中心となって、具体的に生徒指導を推進します。

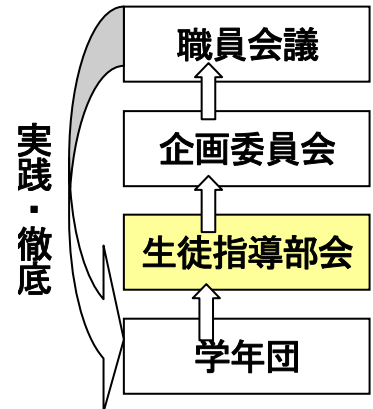
内容

### ● 生徒指導部で企画・立案

各学年の代表で生徒指導部を組織して方針や基準を協議することで、指導の足並みを揃えます。

### ● 実践と改善

指導方針・基準はなるべく細かく全職員に周知し、共通理解を図ります。実践後は、生徒指導部で評価を行い、翌月の指導内容に生かしていきます。



生徒指導部 提案資料（4月）

- 1 学期の生活目標  
「元氣なあいさつをしよう」（自分から・多くの人に）  
「ろうかを歩こう」（走らない・遊ばない）
- 生徒指導面について  
○「元氣なあいさつをしよう」実現に向けての取り組み  
・あいさつレベルアップ大作戦  
先生や友だち、地域の人に先に自分からあいさつできれば1点。5点ゲットでレベルUP。各学級で名簿を用意し、朝の会で日直がその日のレベルをチェックする。よくできていた児童 or 学級は、生活委員会が放送で発表し、賞賛する。

「目指せレベル5！」が合い言葉です。  
先生方も、子どもに負けないうらい早く・大きな声で挨拶して下さい。子どもたちのよいお手本になります。

「ろうかを歩こう」実現に向けての取組  
・各学級で名簿を用意し、帰りの会で達成できたか日直がチェックする  
・よくできていた児童 or 学級は、安全委員会が放送で発表し、賞賛する。

学級で調べた際には、できた児童を賞賛して下さい。達成が難しい児童には声かけをお願いします。褒めて伸ばしていきましょう。児童が競い合って挨拶をすることで、挨拶のある風景が当たり前になって欲しいと思います。

児童が互いに「走っちゃダメだよ」と指摘できるまで高めたいと思います。走った児童を指導するだけでなく、周りの児童に指摘するよう促して下さい。

成果

生徒指導主事からの一方的な呼びかけでなく、各学年団の代表者が生徒指導部に参画し主体的に企画・運営することで、より意図が伝わり指導が徹底してきました。

### ◆ 本校におけるその他の取組

- 日課にソーシャルスキルタイムを位置付け、よりよい行動を身に付けようとしています。
- 人権・同和教育の推進を通して、授業の意図や学習内容などを伝えることで保護者啓発を行っています。